

議事録

会議の名称	令和7年度第3回西東京市総合教育会議
開催日時	令和8年2月4日（水）午後4時から午後5時30分まで
開催場所	西東京市役所 田無庁舎4階 第1・2教育委員会室
出席者	池澤市長、萱野副市長、後藤教育長、山田教育長職務代理者、服部教育委員会委員、今井教育委員会委員、宍戸教育委員会委員、安江教育委員会委員 (平和大使) 印開心、小川真葉、麓幸太郎、四方和華 (若者スタッフ) 岡田壮太 (事務局) 柴原企画部長、門倉企画部参与兼企画政策課長、山本企画政策課企画政策係長、豊田企画政策課企画政策係主任、小野塚企画政策課企画政策係主事、遠藤子ども若者部長、福所児童青少年課長、齋藤子ども家庭担当部長、堀子ども家庭課長、小菅生活文化スポーツ部長、河野協働コミュニティ課長、平沼協働コミュニティ課市民活動・平和推進係主任、佐野教育部長、早川地域学習推進担当部長、飯島教育企画課長、鈴木教育企画課企画調整係長 (傍聴人) 1人
議題	1 懇談 戦後80周年平和大使派遣事業について 2 事業報告 令和7年度の教育に関する重点施策に基づく事務事業について 3 協議 令和8年度の教育に関する重点施策（案）について 4 その他
会議資料の名称	資料1 戦後80周年平和大使派遣事業について 資料2 令和7年度 西東京市戦後80周年 平和大使派遣事業（報告集） 資料3 令和7年度の教育に関する重点施策に基づく事務事業について 資料4 令和8年度の教育に関する重点施策（案）について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○柴原企画部長：</p> <p>ただいまから、令和7年度第3回西東京市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>はじめに、会議の公開等につきまして確認をいたします。</p> <p>本日の会議は、西東京市総合教育会議会議規則に基づき公開いたします。傍聴につきましては、西東京市総合教育会議傍聴要領の規定に基づき10席までの傍聴を認めます。議事録は、発言者の発言内容ごとの要点記録といたします。御異議ありませんか。</p> <p><異議なし></p> <p><u>議題1 懇談</u></p>	

○柴原企画部長：

「議題1」「懇談、戦後80周年平和大使派遣事業について」です。

平和大使の皆様と若者スタッフの方から活動等について順に発表をしていただき、その後、意見交換とさせていただきます。事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

(平和大使、若者スタッフの発表)

○柴原企画部長：

委員の皆様、御質問や御感想等ありましたらお願いします。

○安江教育委員：

平和大使の皆さん、若者スタッフの方、ありがとうございました。このような素晴らしい派遣事業を企画、運営されました西東京市の関係者の皆様に敬意を表します。今日の皆さんの発表を見て、平和というのは非常に大事なもので、伝えていかなければいけないと改めて感じました。

今回限りではなく、これからも是非この貴重な体験を基に、同世代や次世代に伝えていっていただきたいと思います。

○今井教育委員：

発表はとてもわかりやすく素晴らしかったです。若者スタッフの方々が一生懸命サポートしてくださったことで、事業に参加する皆さんが安心して参加できたのではないかと感じました。今回の発表を聞いて、実際に広島に足を運んで様々なことを学んでみたいと思いました。

平和について、しっかりと向き合って考える機会はなかなかないと思いますので、実際に行って知ったことや肌で感じたことは、とても貴重な出来事だったのではないかと思います。

質問ですが、平和大使派遣事業に参加をして、日々の生活の中で何か変わったことはありましたか。

○印平和大使：

学校の休み時間など、周りの人の雑談の中で戦争や平和の話題が出てくると、そちらに耳が傾くようになり、平和に対する話題に敏感になりました。

○小川平和大使：

今までは聞き流していましたが、ニュースなどで戦争の話を見るようになりました。田無駅北口にある平和のリングについても、この事業の学習で知ったので、平和のリングを通るときは派遣のときのことを思い出すようになり、関心が高まったと思います。

○麓平和大使：

戦争で何があったのか、さらに詳しく知りたくなりました。去年の12月には、鹿児島県にある「知覧特攻平和会館」に行って学んだり、図書館の本に触れたりして、さらに知りたいと思ったことを調べるようになりました。

○四方平和大使：

授業で戦争の歴史を学びますが、原爆資料館に行って戦争の悲惨さを改めて知ったことで、戦争をなくさないといけないと考えるようになりました。

○岡田若者スタッフ：

今回の旅を通じて知識量が増えました。その増えた知識を知人に広めています。

○柴原企画部長：

ありがとうございました。他にありますか。

○服部教育委員：

皆さんのお話を聞いて、私が初めて原爆ドーム等を見に行ったときのことを、すごくリアルに思い出しました。私は一晩眠れないくらい怖かったです。皆さんもとても怖かったと思います。その怖いと思った気持ちを、どうかいつまでも忘れないでください。

発表の中で出てきた、河野キヨ美さんの絵本のタイトルがわかれば教えてください。

この素敵な「報告集」が、各学校の図書室に入ると良いと思います。

○柴原企画部長：

絵本のタイトルは、事務局が確認して報告します。

○宍戸教育委員：

私も子どもの頃、父や母に戦争体験の話をしてほしいと聞いたことがありました。父からは、思い出したくもないから聞かないでくれと言われてしまい、母からもあまり話したくないと言われ、子ども心に戦争の話は聞いてはいけないのだと思っていました。

広島の中核ドームに行ったときも、衝撃的で最後まで見切れず、途中で出てきてしまいました。皆さんは勉強しようという想いを持って事前学習をして、辛い体験をされた方の話を直接聞いて、それを同世代の人たちと語り合うということは、本当に良い経験になっていると思います。

「平和大使」良い言葉だと思います。今回、皆さんは事業に参加されて平和大使になりましたが、参加後に様々な変化があったということは非常にありがたいと思っています。

授業で学ぶことは時間が限られていますので、そこで興味を持ったものを広げていき、そして日本でみんなが平和に過ごせることを、声を大にして言える人になってもらいたいと思います。

○山田教育長職務代理者：

私は小中学生の頃、アサヒグラフという雑誌で、被爆の実相を写した写真を見てしまったときの衝撃は、未だに覚えています。

高校生の修学旅行で訪れた長崎の原爆記念館は、その頃はまだ木造の建物で、入っただけでも不気味なところでした。私も皆さんと違った形ですが、原爆の恐ろしさを学んできました。

皆さんには、これからも平和について学んでほしいと思います。国内だけではなく、世界の問題にも目を向けて、頑張っていたいただきたいと思います。

○副市長：

今日は本当にありがとうございました。私は事前の学習会から参加をさせていただいて、皆さんと一緒に勉強をしました。ショッキングな写真を見たり、少し厳しいかなと思う研修も受けました。それから皆さんが実際に広島に行って、事後の学習会でお会いしたとき、自分の言葉で、自分の想いが乗った発言をされていて、言葉がとても重くなっていました。平和大使の皆さんが大きく変わった、成長を強く感じた事業でした。

西東京市はこの事業を続けていきたいと思っています。皆さんが第1期の平和大使になりますので、第2期、第3期とつながっていく輪を、是非広めていっていただきたいと思っています。

○教育長：

ありがとうございました。中学生、高校生が現地に行って体験的に学び、自分の目で見て、自分の心で感じて捉えて、それを発表にまとめ、言葉で伝えていくことで、聞いた人は改めて平和の尊さを再認識する機会になると思います。皆さんは、平和大使という非常に重要な役割になったと思います。平和大使第1期生として、引き続き、皆さんの平和に関する行動が他の方に伝わっていけば、それが平和に繋がる大きな力の第一歩になると思いますので、期待しています。

○市長：

立派な平和大使になっていただき本当にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。そしてまた、これからの平和大使の皆さんの活動、行動に期待をしています。これからもよろしく願います。

○柴原企画部長：

ありがとうございました。議題1の「懇談」は終了とさせていただきます。
平和大使の皆様、若者スタッフの方は、御退席となります。拍手でお見送りをお願いします。

(平和大使、若者スタッフ退席)

議題2 事業報告

○柴原企画部長：

続いて「議題2」「事業報告、令和7年度の教育に関する重点施策に基づく事務事業について」です。事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

○柴原企画部長：

委員の皆様、御意見等ありましたらお願いします。

○山田教育長職務代理者：

ヤングケアラーコーディネーターの配置について御報告いただきましたが、ヤングケアラーの実態調査の結果について、公表は予定されていますか。

教育委員会にも知らせていただける機会があると良いと思います。

○堀子ども家庭課長：

実態調査の分析結果を基に、職員がヤングケアラーの支援をするときの道しるべとなる指針、方針のようなものを今年度中にまとめる予定です。そこには数値なども盛り込んで作成しているところですが、これは職員のマニュアルという位置付けのため、公表する予定はありません。

教育関係の皆様には一定程度、実態を知っていただくことは必要だと思いますので、情報提供の方法も含め検討させていただきたいと思っています。

○服部教育委員：

ほっとルームレター、タイムシェアについて教えてください。

○遠藤子ども若者部長：

ほっとルームレターは、小学生と中学生に向けて、何か困り事や話したいことがあれば書いてほしいと、全校の子どもたちにレターという形でお配りをしているものです。また、いつでも書けるようにと保健室の前などにも置かせていただいています。

○服部教育委員：

形態や提出方法などを教えてください。

○遠藤子ども若者部長：

A4の紙ベースです。書いた後、そのまま郵送で送っていただければ、市に届くようになっています。

○福所児童青少年課長：

タイムシェアについてお答えします。

登録児童数のうち、7割から8割が実際に登所しています。本町第二小学校を例に挙げると、定員が50名のところ、4月1日の登録児童数が102名で、定員超過率は204パーセントでした。102名のうちの70～80名が登所している状況になりますので、定員数を超えている20名程度にタイムシェア先に移動していただきます。そうすることで学童クラブは60名程度となり、過密化の解消に寄与している

と認識しています。

○服部教育委員：

50名のスペースと考えると良いですか。

また、タイムシェアは何時から何時までの対応でしょうか。

○福所児童青少年課長：

50名という定員数は、児童1人の面積、1.65平米という国が定めた基準で算出したものです。

14時から16時がいちばん登所数の多い時間帯になりますので、児童に移動していただきながら過密化の解消を図っています。

○柴原企画部長：

その他、疑問等ありましたら、後ほど事務局にお問合せください。

議題3 協議

○柴原企画部長：

「議題3」「協議、令和8年度の教育に関する重点施策（案）について」です。事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

○柴原企画部長：

委員の皆様、御意見等ありましたらお願いします。

特に御意見等ありませんので、こちらにつきましては、新年度も引き続きということによりよくお願いします。

「議題4」「その他」に入る前に、先ほど「議題1」「懇談」の中で、服部委員から御質問のありました絵本のタイトルがわかりましたので報告します。

○河野協働コミュニティ課長：

タイトルは「あの日を、わたしは忘れない」です。ヒロシマ原爆の絵日記として、河野キヨ美さんが書かれた絵本です。

議題4 その他

○柴原企画部長：

最後に「議題4」「その他」です。何かありますか。

（事務局説明：会議資料及び議事録の公表、次回の開催予定について）

○柴原企画部長：

最後に、全体を通して何かありますか。

○山田教育長職務代理者：

総合教育会議の日程についてですが、年度当初に年間計画を立てていただくと、多くの人が出席できるのではないかと思います。検討をお願いします。

○門倉企画政策課長：

いただいた御意見も踏まえて、年度当初にお示しできるように検討させていただきます。

○柴原企画部長：

以上をもちまして、令和7年度第3回西東京市総合教育会議を閉会いたします。
ありがとうございました。